

【町長挨拶】

みなさま、おはようございます。私の方から情報提供ですが、いま農商工共創センターについて内部で協議しているところなのですが、矢巾の地域経済の2本柱として農業と商工業がしっかりしなければいけない。また、地域コミュニティについて、この自然災害の多い中でみなさんが安心安全に暮らせる地域コミュニティを作っていきたい。地域での「ウェルビーイング」をどのように考えていくか、というのを考えて行かなければいけないと思う。また、関係人口について議会でも何回も質問されていますが、観光以上、移住以下を関係人口と呼ぶべきと考えています。移住しなくとも良好な関係作りというのを大切にしたいと思います。あとは西部地域の活性化、特に大きな川が4つあるのですが、上流と下流の広域交流をどのようにしていくかというのをみんなで考えて行きたい。国政にはとやかく言うつもりはないが、国民本位の政策協議をしっかりやっていただいて、国民の視点で合意形成を図ってもらいたい。石破総理は地方創生に力を入れると言っているが、私はそれにプラスして地域創生と地方共生ができる仕組みを考えて行かなければ取り返しの付かないことになるので、そういう国民的な議論をやってもらえればと思う。

【内容発表】（担当者が詳細説明）

1 農地に関する相談会の開催について（農業委員会）

7月から12月まで実施している農地パトロールの強化期間に合わせて、農地に関する相談会を開催します。農地の貸借、売買、農地転用、新規就農、後継者育成、農業者年金など、農地に関する相談を農業委員がお受けします。日時は令和6年11月24日（日）、午前の部は午前10時から正午まで午後の部は午後1時から午後3時までとしております。場所は町公民館2階第1研修室・第2研修室の2ブースを設けます。予約は不要で、相談料も無料です。今年の秋まつりでも相談会を実施しましたが、キャベツの育て方など実務的な相談も農業委員さんが対応します。

2 みんなで減塩フェスタ in やはば（健康長寿課）

こちらはいわて東北メディカル・メガバンク機構が主催のイベントとなっております。いわて東北メディカル・メガバンク機構の調査研究で得られた知見を紹介し、生活習慣病予防を普及するため減塩イベントを開催します。このほか、医大看護学生によるポスター展示や、アンケートに回答すると減塩醤油のプレゼントもあります。日時は令和6年12月8日（日）午前10時30分から午後3時まで、場所はやはば一く1階プロムナードで開催します。講演が2回あり、1つは岩手医科大学 丹野先生による「塩分とりすぎ!!～矢巾町の実態、お話しします～」もう1つは岩手医科大学 赤坂先生による「ナトリウム・カリウム比を改善して、循環器病、認知症予防」という講演が行われます。その他体験コーナーでは、尿ナトリウム・カリウム比の測定や、矢巾町食生活改善推進員による塩味くらべ・クイズコーナー、岩手県栄養士会による減塩はいつでもどこでも災害時でもなどのブースがございます。

3 令和7年矢巾町二十歳の集いについて（文化スポーツ課）

若者が大人としての自覚を持ち、社会への一歩を踏み出すことを祝い励ますため「二十歳の集い」を開催します。日時は令和7年1月12日(日)午後1時から受付、午後1時30分から午後2時30分まで式典、その後、記念撮影を予定しております。場所は矢巾町文化会館、主催は矢巾町教育委員会です。対象は平成16年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた方で町内に住民票がある方、町出身で現在町外に転出している方です。町外に転出した方と、12月1日以降に町内に転入を予定している方はお電話でお申し込みが必要となっております。

【質疑】

《農地に関する相談会の開催について》

●記者

毎年何組ほど相談に来ているか。

●担当者

令和3年4年はコロナ禍ということもあり5組ほど、その他の年は10組ほど相談に来ていただいております。

●記者

主な相談内容はなにか。

●担当者

農地を売りたい、手放したいという相談が多く寄せられます。

●町長

売りたい人がいる一方、買いたい人がいない。集落営農もあるが、高齢化が進んでいるため支援して行かなければいけない。スマート農業にも力を入れたい。

《みんなで減塩フェスタ in やはば》

●記者

なぜ減塩フェスタ開催に至ったのか。

●担当者

いわて東北メディカル・メガバンク機構では東北各地で研究を進めてきたが、研究に協力してくれた方々に研究結果を還元する機会がなかったとの事で話があり、今回初開催に至りました。

《令和7年矢巾町二十歳の集いについて》

●記者

2022年に成人年齢が18歳に引き下げられたがこれまで通り20歳に開催するのか。

●町長

18歳の1月は大学受験や就職活動などいろいろなことで忙しい時期。また、女性が振袖を着るのには18歳より20歳のほうが相応しいと考える。

《その他、町長への質問》

●記者

先日の選挙の結果はどうお考えになるか。

●町長

選挙というのは民意ですから、どんな結果にせよ厳粛に受け止めて活動していただきたい。これからの国会論戦を楽しみにしている。国が大きく変わるチャンスだと考えている。

【事務局から連絡】

毎月第2火曜日に実施している定例記者会見ですが、来月は12月11日(水)に実施しますのでよろしく申し上げます。

(10時15分 終了)